

平成27年度「学校・家庭・地域連携サポート事業」

学校支援実践研修会

◎期 日:平成27年10月1日(木)13:00~16:30

◎会 場:玉川村立須釜中学校 たまかわ文化体育館

【研修内容】

◎須釜中学校での「総合的な学習の時間」における箏の体験学習支援活動参観！

◎玉川村の学校支援本部事業についての概要説明と安全安心たまかわこぶし隊の
実践報告



【目 的】

学校支援事業や放課後支援事業の先進的な取組の実施状況を見学し、成果や現状について協議するなど実践を学ぶための研修会を行い、事業への理解を深め関係者の資質向上を図るとともに実施校の拡充を図る。

【主 催】

福島県教育委員会

(受付)13:00~ たまかわ文化体育館

13:15 ~13:20 ◇開 会
・あいさつ ・諸連絡

移動(バスで移動)

13:40 ~ 14:30 ◇支援活動参観
須釜中学校
(総合的な学習の時間における「箏の体験学習」で、学校支援ボランティアの活用状況と外部講師の導入などを中心に参観)

移動(バスで移動)
<休 憩>

15:00 ~ 15:30 ◇概要説明
「玉川村の学校支援本部事業について」
(我妻亜希子コーディネーター)

15:30 ~ 16:00 ◇実践報告
「安全・安心たまかわこぶし隊の実践報告」
(矢部 敏彦事務局長)

16:00~ 16:25 ◇質疑応答・情報交換(交流会)

16:30~ ◇閉 会(解散)



□ 支援活動参観

「総合的な学習の時間」における箏の体験学習支援

- 文化祭での発表に向けて、箏と三味線の演奏練習を行い、箏についてはボランティア2名の支援を受けて活動した。
- 調律や姿勢については、ひとりひとりに寄り添い、ていねいに支援し、演奏に関しては、要所要所で範を示しながら進めていた。
- 初めて練習した曲が多かったが、終盤には演奏技術の上達が感じられ、子どもたちの発表に向けた練習意欲の高まりがみられた。



□ 概要説明および実践報告

「玉川村の学校支援本部事業について」

講師：学校支援地域本部コーディネーター 我妻亜希子 氏

- 平成22年から始まった川辺小での読み聞かせがきっかけとなった。
- 活動内容を知っていただくために年1回、回覧板で村内に募集のチラシと登録用紙を配付している。(募集は随時受け付けている。)
- 登録ボランティアは50名を超えている。一人の負担加重にならないよう、学校の要望に応じてコーディネーターがバランスを考えて割り振っている。
- コーディネーターとして、学校の要望を正確にくみ取るために打ち合わせを持つとともに、先生方に活動内容を知っていただくようにしている。
- ボランティアの方々とはコミュニケーションを大切に心がけ、電話で依頼後、正式に文書にて連絡する。学校に入っている際には、出向いて活動を見守り、同時に感謝の意を伝える。



「安全安心たまかわこぶし隊の実践報告」

講師：川辺こぶし隊 事務局長 矢部 敏彦 氏

- 立ち上げは老人クラブであり、会長が隊長となって会員が隊員となっている。
- 安全安心は奥が深く、会議を通じてよりよい活動のあり方を探ったり、規則や規約をつくったりしている。
- 今年度小学校が統合されたが、スクールバスの発着所での見守りを継続している。
- 見守りは複数対応とし、遅れてきた子どもなどの世話ができるようにしている。
- 夏季休業前に子ども、学校と会議を開くと同時に、警察からも適宜アドバイスを頂いている。
- 子どもからの感謝の言葉が一番の励みとなっている。



◇参加者の声・感想等

○コーディネーターさんの活動の様子を見聞きすることは今後の活動の参考になります。

○中学校への支援活動は珍しく、また、和楽器の学習でもあり興味深いものがあった。

○システムが異なるため大変勉強になった。教育委員会の方向性が町として取り組む内容となることが十分把握できた。

○地域の様子と学校とのつながりが大変良く理解できた。